

# 住民と議会の意見交換会

日時 平成 25 年 11 月 21 日 午後 7 時～

場所 中央公民館泊分館

出席者 20 人

司会

(あいさつ)開かれた議会にするため、二元代表制の機能を担うため、先進地に学びながら議会改革を進めている。議会改革委員会から、住民のみなさまから、意見をきいて議会運営に努めるべきだという提言があった。皆様方の御意見をよろしくお願いたします。議長が参り次第、あいさつをします。議員の自己紹介から始めます。

(各議員自己紹介)



## 地域の問題に真摯に対応（中央公民館泊分館・会議室）

司会

河田議会運営副委員長から、今日の日程の説明。

河田副委員長

(資料を基に説明)

司会

議長よりあいさつお願いします。

議長

(あいさつ)遅れて申し訳ありませんでした。議会報告の後、皆さんの一番の関心事の統合問題についての意見交換としている。今日はよろしくお願いたします。

司会

報告に入ります。総務産業常任委員会報告。

入江委員長

(資料に基づいて説明)水明荘の運営状況について。今年度の宿泊休憩は前年度と比較して多い。しかし、計画値には達していない。平成 18 年に改修し、企業償

還毎年 8300 万程度。平成 31 年までである。築 20 年で、大規模な改築等が必要と考えられる。公設公営がこれからもふさわしいのか、研究しながら改善を検討したい。業績がよい国民宿舎に学んでいきたい。橋津川推計河川整備計画について。昭和 61 年の台風を経て改修が進められたが、H23 の洪水が起り、改修・整備計画が進められている。先日、中部総合事務所県土整備局の報告を受けた。護岸の整備、県道の冠水箇所のかさ上げ測量設計が計画されている。全体の整備は、おおむね 10 年で整備していく。委員会としては 1 年でも早く整備してほしいという願いはしている。30 年に一度の災害に備えたもの。皆さんには情報をフィードバックしていきたい。町道筒地原線について。平成 24 年の 4 月から通行止めになっている箇所。滑りが始まっていて、長雨があると状態が悪くなる。執行部に時期を決めて取り組んで行ってほしいと要請。県道絹見青谷線にも亀裂。県道と町道が連携して改修。今後も皆さんに報告しながら進めたい。

司会  
浦木委員長

教育民生常任委員会報告。  
公民館体制について。(資料を基に説明)中央公民館は羽合・泊分館と同列であると確認しておきたい。公民館主事をなくして、地区活性化推進員の設置が提案されている。運営委員は各地区から 1 名。各役割は質疑のときに説明したい。東郷・羽合では、早く結論付けるよう要望があった。議会として強く申し入れていきたい。去年の 10 月に長瀬区長より陳情要望が出された。議会として委員会として議論し、委員長報告が出された。地域住民と協働で推進しなければならない行政課題の取組みとして、教育委員会主管の地区公民館から町全体が関わるコミュニティセンター化への移行が提言された。執行部から明確な回答がない。幼保一体化について。はわいこども園は順調に推移している。園長先生の話としては、定員 150 人は保護者同士の連携が弱くなるかもしれないので、取り組んでいきたいとのこと。東郷地区の幼保一体化施設。H27.4 月開所予定。泊の 2 つの保育所については、議会はまだ具体的に議論していない。保護者の声を聞きながら進めたい。中学校の統合問題について。陳情を教民が受けたが、重要な案件であり、全協で協議する。その後、教民で審議報告したい。

司会  
浜中委員長

議会広報常任委員会。  
議会広報の編集・発行、各委員会の審議等の動画配信を行っている。広報編集フローとしては、編集方針、表紙写真のテーマを決め、約 5 回の編集会議を経て発行。写真、インタビューも議員が撮っている。

司会  
河田委員長

行財政調査特別委員会。  
(資料を基に説明)現在は第 4 期の委員会。(資料 4 を音読)今期の目的は、第 3 期報告の 3 項目。また、現金主義単式簿記から発生主義複式簿記の企業会計の導入を進める公会計改革の勉強に取り組んでいるところ。

司会  
増井委員長

議会改革基本問題調査特別委員会。  
定員・報酬だけではなく、町民に信頼される議会を研究。(資料を基に説明)今

期委員会の目標は、①実際に機能する湯梨浜町版議会基本条例制定、②調査機能強化と議会の IT 化研究、③通年議会の調査研究。

司会 各委員長の報告についての質問は。執行部と協議しなければならないものは後日報告します。

住民 議会広報について。10年目の記念で何かするのか。40号の記念で「だより」を消したのか。「だより」はやわらかかった。「議会ゆりはま」はどうか。最後のページの役場住所の数字の縦書きはみにくい。久留の郵便番号が違う。

浜中委員長 編集会議でもいろいろ意見があった。これまでは「ゆりはま」(標題)が小さかった。またみんなで検討しながら進めていきたい。表紙・インタビューも顔が見えるようにしたい。

住民 田後の議員さんが二人おられる。郵便番号も校正を。

浜中委員長 みんなで議論してよりよいものをつくっていきたい。

司会 その他ありませんか。

住民 公民館体制について。地域活性化推進員と運営委員の役割は。

浦木委員長 行政側の考えとして、地域活性化推進員は、各地域が取り組んできたもので今後も活かしていきたいものを要望。運営委員は各区の要望の立案、館と中央公民館の調整をする。

住民 運営委員は報酬が出るのか。

浦木委員長 予算のことを委員会で協議していないので、決まっていない。今度の26日になにか提案があるのではと思う。

住民 委員長はどう考えているか。

浦木委員長 個人的な意見は差し控えたい。

司会 他にはございますか。(なし)中学校統廃合問題についての意見交換。先般、町長と語る会も開催された。進行は会見副議長。

副議長 中学校統合等についての意見交換。統合、新築、場所等問題がある。泊では、従来中学校はバス通学。思いがあるのでは。

住民 私はまだ耐震改築にこだわっている。第2回検討委員会は新築。町長の説明は耐震基準に言及なく、学校の耐用年数がきているということだった。教育長の回答は、ノートのサイズ変更にあつた机が必要。先月の町長の説明では、今年業者に耐震診断をさせたとのこと。耐震基準に達していないということだが、耐震基準に達していないから、耐震改築するのではないか。なぜ議員側は耐震改築にこだわって執行部に言わなかったのか。県庁も免震構造にしている。町長は語る会で新築と言っていた。議会で結論に至った理由を。

議長 言われることはごもっとも。第1回の検討委員会は、委員長報告として、地域的な話は落ち着きようがなく、両校ともまず耐震がベスト。教育委員会は耐震について協議はしているが、議会に報告が上がってきたのが遅すぎた。「いくら耐震工事をして、耐震基準に達しない」新築にするため、教育委員会内部で

話がされている。場所として、北浜・花見・東郷。第2回検討委員会は、新築・統合が望ましいと最終報告。そこで止まっている。議会は、保護者も納得していると聞かされていたが、そうではなかった。議会としては、ありきで進んでいない。11月8日の全協（議会全員協議会）で町長側に語る会の精査を聞いたかったが、意見交換にした。2回目の検討委員会に振るのか、新しい検討委員会にするのかはまだ聞いていない。耐震のことについては、上野議員の話聞いていただければ。

上野議員

耐震診断は、土から上と下がある。今建っている建物は、地震に耐えてきている。地下の地盤部分に関しては問わない、上の構造だけ補強しなさいと言うこと。最初、町長は今の学校を耐震化して使いたかったが、液状化のおそれがあるということで、考えを変えたと報告があった。3月の全協で、多数決をしようという話になった。耐震か新築の二択の多数決で新築になった。

議長

町長と語る会の精査と、教育委員会の内部協議が町長までいったのかはわからない。議会と町長との結論が違っていたら、議場での議決になる。そこまで行ったら、まずいと考えている。

副議長

その他。

住民

新築になると思うが、お願いしたいことがある。万一のことが起きたときに、液状化が起こるようなところでは駄目。東郷・羽合は海拔も低い。想定外の津波があるかも。文献では、過去5mの津波があった。液状化しないところ、海拔があるところで。場所の選定は難しいと思うが、住民の避難場所にもなるところを。資料を出して。説明してほしい。

副議長

議長。

議長

すべて持ち帰りたい。

副議長

その他。

住民

教育委員会から議会の方に、第2回検討委員会の結果がどう伝えられているのか不信感がある。そういうものを閲覧できるか。

議長

かなり厳しい意見のやり取りはしている。政治は妥協の産物。しかし、妥協はいい加減なものではない。財政推計についても言いたいことはある。相当数字上の開きがある。公会計制度についても言いたいことがある。現金会計制度はお子様の会計。将来のことを考えると、よくこんな状況で続けてきたと思う。

住民

議長の言葉を信用したい。議員定数・報酬削減、職員の給料カット・節約で積み上げてきたものを中学校新設に使ってしまったといいのかと私は思う。

副議長

他にはありませんか。

住民

議会は、北浜中学校の場所を断念しているのか。

議長

それも含めて断念していない。

住民

住民に負担がかからない方法にしてほしい。町長と語る会最終日の数日前に、花見に農水省の職員が来て水田を測量していたという噂がある。水面下で進ん

議長

でいるのか。今の教育長は何年目か。

4年目くらい。



たくさんの町民の方々が参加（中央公民館泊分館）

住民

私は、中学校統合経験が今回で2回目。北溟地区を愛している。土海教育長より郷土愛がある。北溟地区の議員さんに、花見にもっていかないでほしい。花見の方に中学校ができれば、北溟地区の議員さんは切腹してほしい。切腹とは、議員辞職のこと。

住民

地域感情丸出しの考え方は棚にあげて、考えてほしい。新築なら新築。費用は別にして、子ども達の安全が保障されるところを。

議長

子ども達が教育を受ける場所はどこがいいのかというのが一番のこと。統合のマインドコントロールにかからないでほしい。東郷小も児童数が減り始めている。湯梨浜全体で考えたときに、泊小もどうするのか。議員の責務として、トータルで配置を考えていかななくてはいけない。

住民

議員の皆さんには、子どもの視点で場所や統合を考えてほしい。郵便局・お寺・小学校がないと地域は疲弊する。小中一貫校には反対。4月生まれと3月生まれだと、体力等に差がある。小学校では順位付けられてしまうが、中学校でリセットされる。鳥大付属でも、一貫教育ではない。

議長

町全体で小学校の配置はどうするかという議論の後で、中学校統合が話し合われるべきであった。おっしゃったことを、考えながらやっていきたい。

副議長

他にはありますか。

住民

花見に建てる話はきいているが、自力通学できる生徒が多いということであった。場所を決めるのにどれくらいのウェイトを占めるのか。

議長 距離の線引きで教育委員会が使っていると解釈している。

副議長 議会・行政への意見交換に入ります。進行を交代します。

司会 昨日は1時間オーバーした。議会・行政に対する意見・提言について。

住民 市民の提言を聞きながら議会を進めていくのはいい方法。この会に足を運ばない人には市民の声がある。総務課のやり方は、議員関連のものだけ事務局にあげる。生の声が届いていない。住民と議会の意見交換会については、意見の重複等があるので、地区を持ち回りにすればいいのではないかと。決算審査意見で、文書規程がずさんという指摘があった。15日に健康推進課でがんの講演会があった。厚生病院の字が違って貼紙がしてあった。あいさつ運動のときには更生という漢字が違っていた。もう少し文章に緊張感をもってほしい。

司会 反省会等もちながら参考にしていきたい。

住民 入江議員から説明があった、筒地原線。草刈りを担当課長にお願いしたが、予算をかけては出来ないとのこと。農業をしている人には、生命線。畑に行くのには遠い。段差がついたところには真砂土を置くなり、車の通行をさせてほしい。

入江委員長 本当に安全ではないところを使うのに危惧する。万一のことがあったら、責任が取れない。行政は、通る人がいないし、う回路があるということであった。ボーリング調査など、経過を見守っていきたい。

住民 道路の態をなしていない。通行止めの部分を除いたところ。木が生えてきた。

入江委員長 草刈りの方ですか。進めていきたい。

住民 来年で合併10周年。地域差のない発展を。泊は、この9年間で354人減っている。商工会に加入する事業所数について、泊に加入する事業所は3分の1が減っている。東郷、羽合も減っているが、泊は、特に減少率が高い。泊小の児童は、10年後半減する。町の行政のスリム化は進んだが、衰退する地域への手厚い手当を要望したい。

司会 各委員会で審議。全協でするかもしれない。合併の目標は2万人だったが。真剣なテーマだと考えている。副議長から閉会のあいさつを。

副議長 慎重審議ありがとうございました。皆様の意見を持ち帰りたい。

閉会 午後9時25分